



多世代交流館と
大間々公民館の
インスタグラム
みてね！

月刊 おおまま公民館だより

令和7年12月19日 第105号
発行：みどり市大間々公民館
〒376-0115
みどり市大間々町塩原363
(みどり市多世代交流館内)
電話：0277-76-2310
FAX：0277-72-4312
Eメール：okouminkan@city.midori.gunma.jp

しぶりたてを五感で楽しむ

とじあな
酒を醸す
業技術センターで日本酒
を専門に研究をする武田文宣先生です。全国の酒蔵の動向、日

お酒ができるまでを体感

座学のテーマは「日本酒を醸す」で、群馬県産の酒蔵の動向、日本酒を専門に研究をする武田文宣先生です。全国の酒蔵の動向、日

「みどり市の地酒講座」
全3回のうち2回目の講座が、大間々町内のいきいきセンターと近藤酒造で開催されました。講座は座学と酒蔵見学の二本立てで、参加者は知識と五感の両面から地酒の理解を深めました。

見学の後は、試飲で酒蔵固有の伝統と哲学に裏打ちされた酒造りについて、杜氏さんに解説をしていただきました。近藤酒造の神様「松尾大衛」のため、帽子と靴カバーを履いてから入場。



本酒の種類やその特徴、日本酒の造り方など、奥の深い内容をわかりやすく説いていただきました。座学の後は、会場からほど近い場所にある近藤酒造の工場見学。



集まつたお米

みどり市の地酒講座 (全3回の2回目) 開催

「昭和100年記念歴史講座」



「歴史写真」は大正2年創刊。史跡や名勝、スポーツや芸能、国内外の情報・事件などを、当時珍しい多色刷りの写真を多用して伝えています。

昭和元年12月25日から数えて満百年を迎えたことを記念し、昭和初期の日本や世界を振り返る講座を開催します。昭和初期の月刊誌「歴史写真」約2年半分の綴りから、この時代ならではの、びっくりする記事や教科書にも載る歴史的事件などを解説付きで鑑賞します。

昭和初期を学ぶ講座を開催

お申し込みは大間々公民館あて電話
またはLogoフォームで！
大間々公民館：電話0277-76-2310
会場：多世代交流館
開催日：令和8年1月31日（土）
午前10時～11時30分
受付：1月8日（木）～29日（木）
参加費：無料
定員：30人程度（先着順）



お申し込み
Logoフォーム

今年は、お米が大きな話題になりましたが、この講座ではお酒の原料である酒米づくりから始まりました。参加者の皆さんには、バケツに稻を植え、それぞれ自宅で育て、収穫しましたが、できたお酒を製造する近藤酒造に送られました。猛暑で苦労もしましたが、できました。お米は大間々公民館経由で、お酒を製造する近藤酒造に送られました。もちろん酒米全体の量からは、ほんの微々たる量ですが、自分たちが作つたお米がお酒の一部になる経験は、貴重なものになつたと思います。

米作りから理解する



年末年始の休館日
12月28日（日）
～1月4日（日）

皆さまには、今年も大
変お世話になり、心より
感謝申し上げます。
来年も職員一同誠心誠
意努力してまいりますの
で、変わらぬご愛顧をい
ただけますようお願いい
たします。

ゆく年来る年

コツを知って楽しくおいしく



ピザとオニオンスープ

11月16日(日) 調理実習室にて、初めての育てサポート教室、江崇之先生の「みんなでキッチン」を開催しました。

夫婦揃って参加の家族もいて、フライパンピザとオニオンスープを作りました。小麦粉にお湯を使うことでの発酵時間を短縮するなどの工夫を紹介され、家族で料理を楽しむ時間となる技を指導してくれました。ださいました。

ご自宅でも、みんなで楽しく料理する風景が想像されます。

言葉と文化を学ぶ

「楽しい韓国語教室」開催

11月1日、15日、
29日(土)の3回、
入門者向け「楽しい
韓国語教室」を開催
しました。講師は韓
国濟州島出身の薮下
(趙)福淳 チヨ・
ポクジュン先生。
地理が近くても、
異なる文化を持つ
日本と韓国。この講
座を通して韓国を身
近に感じてもらえる
ような内容にしたい

組みでした。ハングル文字を読むことより、聞いて発音することで韓国語に「慣れる」ことが大切だとの説明に受講生は真剣に耳を傾けていました。

今回の教室以降も勉強したいとの声もあり、有志で学習サークルとして勉強会を行っていくそう

興味をお持ちの方は事務局までお問い合わせください。
(韓国)



聞くことに慣れてもらいたいと 強調する先生

明るくなります



設置された外灯

多世代交流館では、現在照明をLEDに交換する工事が進んでいます。

変わります 多世代交流館



駐車場の充電装置

多世代交流館の駐車場にEV用の充電機器が設置されます。供用開始は12月中旬の予定です。

EV普通充電器 設置のお知らせ

冠雪の赤城山

嚴冬、寒さの訪れ

当館でも風花や早朝の霜が確認されました。
白く染まつた赤城山はこの季節の風物
詩です。
今季も寒くなることが予感され、冬支
度が必要です。

次号の「おおまま公民館だより」は令和8年1月23日発行予定です